

● 情報公開と市民参加の担保を～ごみ・下水道の民営化を考えるシンポジウム～



大阪公共サービス政策センターは8月31日、ヴィアーレホールで「ごみ・下水道の民営化を考えるシンポジウム」を開き、地域で公共サービスにかかわる活動を行っているNPOや民間団体を招いて、さまざまな視点から議論を行った。

主催者の真山達志・理事長（同志社大学副学長）は「多くの市民に、現場実態に即した問題提起を通じて公共サービスの民営化について考えるための情報提供の場としたい」と訴えた。基調講演では、NPO法人泉京垂井の神田浩史・理事から「市民が信頼し納得する公共政策を立案していくためには立案の初期段階から徹底した情報公開と市民参加の担保が必要だが、一方で労働組合と市民との対話はほとんどないと感じる。市民の意見を聴く場を作ることが大事で参加型のワークショップなどもそのひとつ。公共性の高い政策ほど時間をかけ丁寧な合意形成が重要だ」との提起があった。

その後、同センター理事で同志社大学の今川晃・教授をコーディネーターに、神田理事、ひのでやエコライフ研究所の鈴木靖文・取締役、水ジャーナリストでNPO法人地域水道支援センターの橋本淳司・理事らがパネラーとなりパネルディスカッションを行った。

パネラーからは「非常時、被災地で自治体職員一人ひとりがその場に合った対応が出来るかが求められるが、人の入れ替わりが激しくノウハウを蓄積できない民間業者も含め、一緒に社会のために取り組める働き方のレベルアップを」、「公共政策は、市民をはじめ多様なステークホルダー（利害関係者）らが出会い協議し、選択肢を考えていくことが大切。大阪市のような直線的な思い込みは危険。選択肢を増やしていけば違う道も開けてくる」、一方「市民に公務の役割をきちっと果たしていることを認識してもらい取り組みに力を入れるべき」などの意見も出された。



オープニングで子どもたちがダンス



シンポでは「恋するフォーチュンクッキー関西のごみ処理施設Ver」をスクリーンに映し出しながら、子どもたちとダンスチームがオープニングを飾った。

動画は大阪産業大学講師の花嶋温子さんが、ごみ処理施設とそこで働く人たちを住民にもっと知ってもらいたいとの思いから府下の自治体の協力のもと撮影されたもので、インターネットの動画サイトyoutubeで既に1万2千回も再生されている。

(写真①=あいさつする真山理事長、②=さまざまな視点から議論が行われたパネルディスカッション)

●【自治労大会】新たな政治方針を承認（統一自治体選）自治労全体が一致団結



自治労は8月28日から2日間、大分県別府市・別府国際コンベンションセンターで第87回定期大会を開き、全国から約4,000人の組合員が結集した。

今年は中間年大会にあたることから、昨年のおおさか大会で決定された2年間の運動方針の総括と補強が行われたほか、おおさか大会の決定にもとづく「新たな政治対応方針」や「当面の闘争方針」

について活発な討論が行われた。

主催者を代表してあいさつに立った、氏家常雄・中央執行委員長は冒頭「平成26年8月豪雨」で被災された方々にお見舞いの言葉を述べながら「被害は甚大であり、県本部と連携を密にし必要な対応をはかっていく」ことを明らかにした。またプラス勧告となった今年の給与改定について「値切りや凍結は許されない。まずは本年の官民較差にもとづく賃金引き上げの確実な実施を求めていく」こと、「給与制度の総合的見直し」については「人事院が俸給表の平均2%引き下げと地域手当への配分を来年4月から実施との勧告にふみ切ったが、実施の見送りを求めていく」と示した。

また「新たな政治対応方針」に関連し「自民党1強の政治状況のもとで、安倍政権が繰り広げる強権的・暴走する政治を何としても食い止めなければならない。中道・リベラル勢力の結集は日本の政治に現実的な選択肢を示すことであり必要不可欠かつ急務である。民主党は野党第一党として担うべき役割が何であるかをより強く意識し、社民党をはじめとする政党との連携を積極的に進めリベラル勢力の強化をはかる必要がある」と強調、あわせて来年の統一自治体選挙は、政治の危機的状況を共有し自治労全体が一致団結して取り組もうと呼びかけた。

初日は来賓あいさつの後、一般経過報告および1年間の運動総括が行われた。その後の質疑討論では、藤本初雄・現評議長が発言に立ち、現業評議会の課題と人事院勧告での給与制度の総合的見直しによる技能労務職種の賃金水準の検討について、自治労全体の課題として取り組むこと、また市従単組として、橋下市長による経営形態の見直しや民間化の課題、労働組合に対する攻撃や不当労働行為に対して全力でたたかう決意を述べるとともに、全国の自治体に波及しないよう協力要請した。

その後、第1号議案「当面の闘争方針」、第2号議案「新たな政治対応方針」、第3号議案「2015年度一般会計・特別会計予算および自治労基金規程の一部改正」の提案と質疑討論、また役員選挙投票が行われ初日は終了した。

2日目、前日に引き続いて活発な質疑討論が行われ、本部中間答弁を経て、すべての議案を圧倒的賛成多数で承認した。

最後に大会宣言を全体の拍手で確認、氏家委員長の団結がんばろうで大会を締めくくった。

(写真 = 大会には約4,000人が参加した)

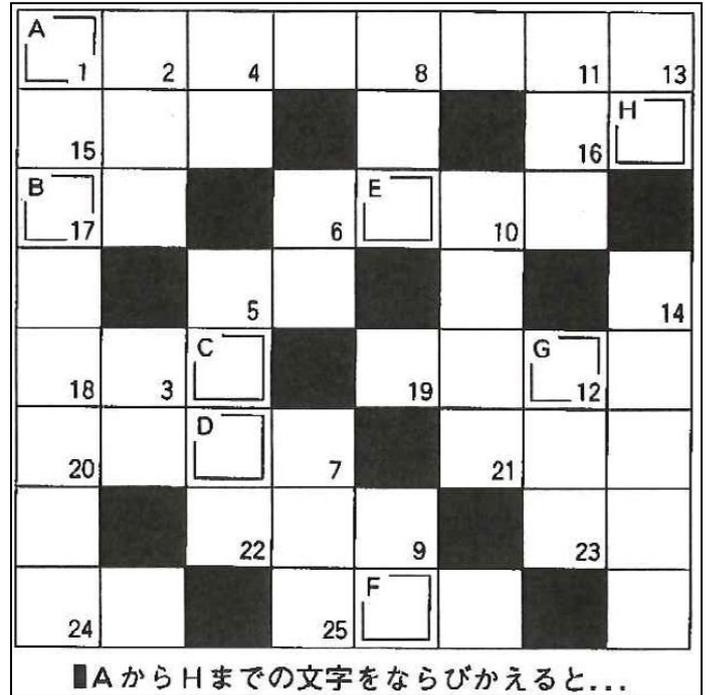
● クロスワードパズル

<タテのカギ>

- 1 軽く投球しバットで打てる打撃練習
- 2 勝利
- 3 ○○、2、3
- 4 ある基準に含まれない部分
- 5 障害物競走で用いる木製・台付きのわく
- 6 ○○は小を兼ねる
- 7 韓国風の雑炊
- 8 ↑↓後手
- 9 親分
- 10 分岐した多数の傘が重なり合って塊状となったきのこ
- 11 すばやく書き記すこと
- 12 米
- 13 ↑↓ノン
- 14 石材を切り出す場所

<ヨコのカギ>

- 1 あちこち忙しくかけ回ること
- 5 ↑↓イイエ
- 6 魚肉のすり身と卵を混ぜて焼いて巻いた食品
- 15 西瓜
- 16 2つそろって1組になっているもの
- 17 碁・将棋をする台
- 18 お茶
- 19 神社入口の、手や口を洗い清める所
- 20 ひととおり読むこと
- 21 取引などに表れた経済活動の情況
- 22 興奮の○○○と化す
- 23 人ごみなどで盗みをはたらくこと
- 24 胡顔子、茱萸
- 25 スパゲティーの総称



<10月8日の消印有効、当選者の発表は10月15日号で>

答えを**52円ハガキ**に明記し、住所、名前、支部名、職場名、また「おもしろいあだな・愛称」を記入して下記まで送って下さい。

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 四ツ橋ビルディング3F301号

大阪市従業員労働組合 組織局 宛

● あふた〜ざか〜にばる

みんなの「過去の栄光」…SAJスキー1級…水泳中河内大会200Mフリー優勝…野球で国体に出場…昔は球児、今はオヤジ…昔はナイスバディだったのにウエストがどこかへ行きました…小学校のとき野球で二打席連続ホームラン…麻雀大会(40人)で優勝…元バイクレースー…水泳の近畿大会で2位…腕相撲の近畿大会で2位…元モデル…1か月で10キロダイエット…絵の作品展で入賞…元バーテンダー…キャニオン上野でホールインワン…すき家でメガサイズ牛丼を2杯完食…空手の全国大会で3位…市政だよりの表紙を飾る…「過去の栄光に囚われるな(笑)」…昔はフサフサでした…(JOE)